

業界初^(*1)のホワイトボード投写とワイド画面 PC に対応した
液晶プロジェクター2機種を発売
上位機種の「CP-X268AJ」は LAN ケーブル1本で PC と接続できるなど、
ネットワーク機能を強化



CP-X268AJ



CP-X260J

日立製作所ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO 江幡 誠/以下、日立)は、業界として初めて^(*1)、ホワイトボード投写時にまぶしさを軽減する「ホワイトボードモード」機能を採用し、さらにワイド画面 PC に対応した解像度設定が可能な液晶プロジェクター「CP-X268AJ」を8月下旬から、「CP-X260J」を7月上旬から発売します。そのうち、上位機種である「CP-X268AJ」については、有線 LAN 接続、「ワイヤレス」などのネットワーク機能や、SD メモリーカードなど各種メディアに対応した「PC レス」機能を搭載しています。

新製品「CP-X268AJ」は、有線 LAN ケーブルでプロジェクターと PC をつなぐだけで、遠隔地からのプロジェクター制御と映像投写を可能とし、さらに電源の ON/OFF、異常事態の監視/発生時のメール通知などの一括管理を可能とする機能を搭載しています。また、無線 LAN 技術(IEEE802.11g)に対応し、これまでの約 5 倍^(*2)の転送スピードでファイルを送信する「ワイヤレス」機能を備え、最大 4 台の PC 画面の表示ができるワイヤレスネットワークの構築が可能です。そのほか、SD メモリーカードなど各種メディアに対応し、「PC レス」を実現するなど、多彩な機能を搭載しています。

「CP-X268AJ」「CP-X260J」の共通機能としては、スクリーンがない場合でも、ホワイトボードに投写できる業界初^(*1)の「ホワイトボードモード」機能を搭載し、ビジネスシーンでの利用など、使用環境に応じて幅広く活用することができます。従来、ホワイトボードにプロジェクターを投写すると、光の乱反射で映像が見づらいことがありましたが、白信号のピークを半減させることにより、映像を見やすくしています。学校では「黒板モード」を使って、スクリーンの代わりに黒板に映像を直接投写することができます。

また、使用する PC の解像度をあらかじめ設定する業界初^(*1)の「解像度設定機能」により、ワイド画面 PC や特殊な解像度の PC を使用して投写した場合も、縦横比を正確に表示することができます。

さらに、約 3kg^(*3)と軽量でありながら、0.6 型の高開口率液晶パネルを使い、高出力 200W ランプの採用と光学レンズを最適化することにより、2500 ルーメンの明るさを実現しています。セキ

ユリティー機能としては、プロジェクターの設置状態を監視して、傾き角度など、設置状態が変化した場合に操作をロックできる「状態監視機能」や、使用者を制限する「パスワード機能」を搭載するなど、実用的な機能を備えています。

■型式及び価格

型式	概略仕様	本体希望小売価格	発売日
CP-X268AJ	XGA リアル対応、2500 ルーメン 質量：3.3 kg	346,500 円 (税抜 330,000 円)	8 月下旬
CP-X260J	XGA リアル対応、2500 ルーメン 質量：3.0 kg	298,200 円 (税抜 284,000 円)	7 月上旬

液晶プロジェクターは、企業での会議・研修や各種プレゼンテーション、学校など教育機関での講義など、幅広く活用され、利用機会が飛躍的に拡大しています。

日立は今後も、ビジネスや教育分野だけでなく様々なシーンにおいて、幅広いコミュニケーションツールとして、誰もが手軽に利用できるような使いやすいプロジェクターの開発に注力し、お客様のニーズに対応した製品を提供していきます。

■本文注記

- *1：2006年6月22日現在
- *2：当社従来機種「CP-X880J」との比較
- *3：「CP-X268AJ」は3.3kg、「CP-X260J」は3.0kg

■他社商標注記

- ・XGA は、米国 IBM corporation の登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■お客様からの問合せ先およびカタログ請求先

家電ビジネス情報センター

電話：0120-3121-19(フリーコール)

時間：9:00～17:30(日曜・祝日および弊社休日を除く)

■日立液晶プロジェクターホームページ URL:<http://www.hitachi.co.jp/proj>

以上

〈新製品の主な特徴〉

■「CP-X268AJ」の主な特徴

1. LANケーブルでつなぐだけで、遠隔地からのプロジェクター制御、映像投写が可能

通常、遠隔地からプロジェクターを管理するには、2本のケーブル(LANケーブルとRGBケーブル)が必要でした。「CP-X268AJ」であれば、PCとプロジェクターをLANケーブル1本でつなぐことで、制御機能と映像投写機能を実現し、より快適なプレゼンテーションを可能にします(*1)。

2. ネットワーク経由のプロジェクター制御

有線LANに接続することで、電源を指定の時間に自動的にON/OFFしたり、内蔵時計を自動補正したりするなどの一括管理が可能です。また、ランプの使用時間や異常を監視し、トラブルがあれば指定したアドレスにメールで通知します。そのほか、ネットワーク監視ソフトを使用することでLANケーブルが抜けるなどの異常時にメールで通知するなど、ネットワーク経由でプロジェクターを一括管理することができます。

3. 「ワイヤレス(*2)」で快適にプレゼンテーション

無線LAN技術(IEEE802.11g)に対応し、最高通信速度54Mbps(これまでの約5倍(*3)の転送スピード)で、離れた場所からであっても、動きのあるファイルを滑らかに送信します。「ワイヤレス」なので、複数のパソコンでプレゼンテーションを行う場合に、それぞれのパソコンにケーブルを接続しなおす必要はありません。

4. 一つの画面に、最大4台のパソコンから表示可能

複数のパソコンを使ってプレゼンテーションする場合には、「ワイヤレス(*4)」でネットワークを構築し、最大4台までのパソコン画面を同時に表示することができます。また、接続しているパソコンの切り換えや画面表示の操作などもパソコン画面からスムーズに行うことができます。

5. 各種メディアに対応し、パソコンを使わずに簡単にプレゼンテーション

SDメモリーカード、USBフラッシュメモリ、外付けHDDと、3つのメディアを使用できます。プレゼンのためにパソコンを持ち運ぶ必要がなく、またパソコンとの接続がないので、セットアップなども手軽に行うことができます。

■「CP-X268AJ」/「CP-X260J」の主な特徴

1. ホワイトボードや黒板に投写可能

スクリーンがない場合でも、ホワイトボードや黒板に投写することができます。これまでは、ホワイトボードに投写すると、光の乱反射で映像が見づらいことがありましたが、新たに搭載した業界初(*5)の「ホワイトボードモード」機能では、白信号のピークを半減させ、映像をより見やすくしました。また、学校では「黒板モード」を使って、黒板(黒、緑の黒板に対応)に映像を直接投写することで、黒板をスクリーンの代わりに使用することができます。

2. ワイド画面PCに対応

これまでのプロジェクターでは、ワイド画面PCや特殊な解像度を使ったPCの縦横比を正しく表示できない場合がありますが、業界初^(※5)の解像度の設定が可能な「解像度設定機能」により正確な表示を実現しています。

3. セキュリティー機能

(1) パスワード&マイスクリーン機能

「パスワード機能」で、プロジェクターの使用者を設定することで、使用者を制限します。また、「マイスクリーン機能」で、自分の好きな映像をキャプチャーして、初期画面に設定することも可能です。なお、「マイスクリーン機能」にパスワードを設定することもできます。

(2) 「状態監視機能」

プロジェクターの設置状態を監視し、セッとの傾きなど、設置状態が変化した場合にプロジェクターの操作をロックすることが可能です。パスワードを解除しない限り、設定と異なる設置状態で使用することはできません。

(3) 「セキュリティーラベル」同梱

セキュリティー保護されていることを示す「セキュリティーラベル」を同梱しており、このラベルをプロジェクターに貼ることで防犯効果を高めることができます。

4. 「マイボタン」機能

複数の機能からよく使用する機能をリモコンの中央部にある2つの「マイボタン」に登録することができます。例えば「RGB1」や「S-VIDEO」の映像ダイレクトボタンや「入力映像情報」、「フィルターリセット」などの機能を「マイボタン」として設定することが可能です。

5. リモコン周波数切り替え機能

これまで、蛍光灯の近くでプロジェクターを使用する際に、リモコンと蛍光灯の赤外線が干渉し、リモコンが機能しにくいことがありました。こうした問題を解消するために、リモコンの赤外線周波数を2種類用意しています。

6. クイックスタート&ダイレクトパワーON/OFF

電源ONから投写まで、わずか約4秒^(※6)というすばやい立ち上がりで、会議やプレゼンテーションをスムーズに始めることができます。また、電源OFF後のクールダウンは不要であり、使用後はすぐにケースに収納して、次の場所への移動が可能です。またスタンバイボタンを押すことなく、メインスイッチを入れるだけですぐに起動する「ダイレクトパワーON」にも対応しています。

7. 製造番号ラベル

天吊りの状態でも金具を外すことなく、モデル名と製造番号が確認できるように、本体側面に製造番号ラベルを貼付しています。また天吊り設置時に視認性をよくするため、上下逆さまに2つの製造番号を表示しています。

8. 入力信号名変更

入力信号名をよく使う機器の名前(NOTE PCやDVDなど)に変更するなど、ユーザーの任意で入力信号名を変えることができます。(最大16文字まで)

9. その他の搭載機能

- ・オート台形歪み補正機能
- ・静音モード機能
- ・セキュリティーバー搭載
- ・リモコンマウス機能
- ・ガンマ選択機能
- ・簡単メニュー/詳細メニュー機能

■ 本文注記

*1:LAN ケーブルで映像を投写する場合、パソコンに専用ソフトをインストールする必要があります。

*2:「ワイヤレス」で映像を投写する場合、パソコンに専用のソフトをインストールする必要があります。

*3:当社従来機種「CP-X880J」との比較

*4:有線 LAN でも HUB を使用することによって 4 画面表示することができます。

*5:2006 年 6 月 22 日現在

*6:起動画面投写までの時間です。電源の再投入や設定によっては起動時間が長くなる場合があります。

<新製品の主な仕様>

■「CP-X268AJ」/「CP-X260J」の主な仕様

型式	CP-X268AJ	CP-X260J
投写方式	3原色透過型液晶シャッター方式	
液晶パネル	0.6型液晶パネル 3枚使用 横 1024×縦 768 (786,432画素) ×3枚 XGA	
投写レンズ	F1.7～F1.9 f=19～23mm	
光源ランプ	200W UHB (Ultra High Brightness) ランプ	
明るさ*	2500lm	
ズーム	手動ズーム(1:1.2)	
フォーカス	手動フォーカス	
スピーカー	1.0W(モノラル)	
RGB 入力	アナログ RGB 2系統 : D-Sub15 ピン端子	
ビデオ入力	コンポーネント 1系統 : RCA 端子 コンポジットビデオ 1系統 : RCA 端子 S ビデオ 1系統 : S 端子	
音声入力	φ3.5 ステレオミニジャック 2系統 / RCA 端子 1系統	
RGB 出力	アナログ RGB 1系統 : D-Sub15 ピン端子	
音声出力	φ3.5 ステレオミニジャック 1系統	
コントロール端子	RS-232C 1系統 : D-Sub9 ピン端子 RJ-45 (有線 LAN 10BASE-TX/100BASE-TX)	RS-232C 1系統 : D-Sub9 ピン端子
リモコンマウス用 USB 端子	B タイプ×1	
電源	AV100V (50 / 60Hz)	
消費電力	330W	310W
外形寸法	幅 306mm×高さ 106mm×奥行 249mm (突起部含まず)	幅 306mm×高さ 86mm×奥行 249mm (突起部含まず)
質量	3.3 kg	3.0 kg
内装付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコン送信機 ・ 電源コード ・ 電源プラグアダプタ ・ 単 3 乾電池 (2 個) ・ アナログ RGB ケーブル ・ ビデオケーブル ・ ソフトケース ・ アプリケーション CD ・ SD ワイヤレス LAN カード ・ 取扱説明書 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコン送信機 ・ 電源コード ・ 電源プラグアダプタ ・ 単 3 乾電池 (2 個) ・ アナログ RGB ケーブル ・ ビデオケーブル ・ ソフトケース ・ 取扱説明書

*出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
